

2023年11月19日(日) 8:30-12:30 天候: 快晴 気温: 6℃→17℃

1. 参加者 (氏名順不同、敬称略)

金子貴美、菅原三千代、亀倉博子、長曾我部桂子、大山珠子、岡田涼子、岡田壮馬、近藤千代、近藤由良、近藤碧良、荒川聡佑、荒川尚太、金森英樹、大田真人、大田直太郎、外崎寿昌、森田邦彦 計 17 人 (PM.2人: 森田、大山)

2. 活動内容

(1) アイ(藍)の刈り取り～種子採取用 (第2畑4区)

ここ数年、種子の自然落粒による発芽分で「藍染め教室」のための採葉が可能であったが、本年は発芽が少なく、藍染め教室を中止して草木染めに変更したことの反省から、明年は前年秋に採種して春に播種することにした。約 40 本の藍を一束として15束刈り取り、第1畑 E 区に簡単な「はせ」を作って懸け、数週間天日乾燥させ採種する。

(2) 収穫祭に用いた調理用具の清拭と収納 (大倉庫)

(3) コスモス茎幹根の除去と集積 (第1畑A区)

花期の終わったコスモスの茎幹を根と共に引き抜いて集積した。(引き抜けない株はスコップを用いて根とともに除去) 集積した茎幹と根は、サツマイモつるとともに次週以降「押切り」を用いて切断し、堆肥の原料にする。

(4) 残ったワタの採取 (第1畑F区)

茎幹と根は引き抜いて 第1畑 A 区の一画にコスモス茎根と共に集積した。ワタはでんでんむし G. のクリスマスリースの材料として使用する。(12月)

(5) 玄ソバの乾燥 (乾燥台 → F区隣接の湿地中央園路上)

11/5 から乾燥台で乾燥してきたが、雨が入るなど乾燥が不十分なので、園路にブルーシートに拡げて乾燥、今後十分に乾燥した段階で、唐箕他を用いて精選する予定) …(4:00PM 袋に詰めて収穫かご収納庫に仮置き。)

(6) ダイズの収穫 (第1畑G区)

A区から発芽した苗を集めて移植したダイズ(小糸在来)の一部を収穫、乾燥台に運んだ。

スナップショット



アイの天日干し



玄ソバの乾燥



コスモスなどの茎根集積



乾燥台のダイズ

3. その他

(1) 11/18 収穫祭速報 [下の(2)を含め、小坂さんから聴取] 参加者総数 534 人(うち、スタッフ 94 人)

(2) 当会の農作物(と加工品)の販売数量と販売収入(畑の会関係のみ)

・サツマイモ 55 袋(@600g) ・サトイモ 87 袋(@600g) ・ダイコン 118 本 金額 計 40,050 円

・イモ煮 217 食 32,550 円 ・焼き芋 171 本 25,650 円 (自然観察の会へ委託) 金額 計 58,200 円

(3) 11/15 9:00-14:00 コンニャクづくり 学習センター料理実習室: 菅原、金子、亀倉、佐々木、山藤、中村 計 6 人

収穫祭スナップショット



本会場風景



野菜即売書



イモ煮コーナー



同左(2)



鎌倉市長の餅つき

4. 次週の活動予定: 2023年11月26日(日)

活動内容～① コスモス、サツマイモつる の切断 ② 玄ソバの精選 ③ 菜種苗の定植ほか

任意[臨時]活動記録

2023年11月15日(水) 4人～上記の3. その他の(3) 記載の通り

2023年11月17日(金) 2人 (亀倉、佐々木、森田、+でんでん G.3人) 販売用イモ洗い、サトイモ土室入れ

2023年11月18日(土)25人～収穫祭:(黒川、金森、荒川(3)、外崎、渡邊(公)、金子、菅原、太田(2)、矢野(4)、岩崎、青田(2)、長曾我部(2)、佐々木、亀倉、大山、大田(2))